

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	江古田ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園では「ここわの教育」を実施しており、園児に対して養護と共に教育も行っています。「ここわの教育」には英語や運動、リトミック、食育、もじすうじなどのプログラムがありますが、今回は外国人講師が使う英語に注目し、園児たちがその言葉に興味を持っているのではないかと考えました。そのため、普段使っている日本語を含めて、「ことば」をテーマに設定しました。

<テーマの設定理由>

「どうしてオルガ先生は英語しかしゃべれないの？」子どもたちの疑問を問いとしました。幼児に対する問い：「私たちの言葉以外で、聞いたことがある言葉って何かあるかな？」「私たちが話す言葉は、みんなも話していると思う？」
乳児に対する問い：日本語と英語の違いがわからないと思われるが、反応の違いがあるのだろうか？

2. 活動スケジュール

<質問>

幼児クラスで、保育者が子どもたちに「ことば」について質問しました。

「私たちが話している言葉の名前を知っている？」

「この言葉は、すべての人が話していると思う？」

「私たちが使う言葉以外に、聞いたことのある言葉はある？」

すると、子どもたちは「オルガ先生は英語しか話せないよ。日本語は話せないんだよ。」と話し、日本語と英語という異なる言語があることを理解している様子でした。

<活動の流れ>

英語講師が来園する日は、英語の絵本の読み聞かせなどが行われ、保育者も子どもたちと一緒に参加します。また、自由遊びの時間に保育者が日本語の絵本を読み聞かせる際には、英語講師も子どもたちと共に参加します。このように、子どもも大人も一緒に日本語と英語の言葉を共有します。発話が難しい乳児クラスでも、日本語や英語の音を聴くことで、言葉に触れる機会を持ちます。

<探究活動の実践と記録>

英語活動では保育者が記録を行い、日本語活動では保育者に加えて英語講師も記録を担当しました。特に、子どもが英語を話した際の言葉や音の聞き分けについては、英語講師が重点的に観察しました。

* 読み聞かせ：1.2.4歳児クラス

* 歌：幼児（3.4.5）クラス

* 手遊び歌：幼児（3.4.5）クラス

<振り返りと共有>

毎月末に英語講師と職員でブリーフィングを行い、探究活動の共有を行います。その場で、次回のテーマを検討し、環境設定や探究活動のスケジュールについて話し合います。また、保育者同士は職員会議の中で振り返りや情報共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<環境設定>

英語講師の来園日に探究活動ができるよう、環境を整えました。

<素材>

- ・ 同一作者による日本語と英語の絵本：エリック・カールの『はらぺこあおむし』と *The Very Hungry Caterpillar*、『げつようびはなにを食べる』と *Today Is Monday*
- ・ 同一手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と *Rock Scissors Paper Finger Play*
- ・ 同一メロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と *Twinkle Twinkle Little Star*



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

* 1歳児クラス：保育者が日本語の絵本「はらぺこあおむし」を読み聞かせました。

<活動中の子どもの姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<子どもの姿>

指を差して絵本に近づいたり、身体を揺らしたりして参加していた。

お腹がペコペコのフレーズでお腹を手で叩いていた。

蝶々が出てくると手で蝶々を表現していた。

青虫を指差しながら「おっ」と声を出していた。

<保育者の関り>

・子どもの指差しや声に対して、「りんごだね！」

「あおむしさん、たくさん食べたね」など声をかけ、共感した。

・穴あきのページを一緒に触って、触感を楽しみ

「次はどうなるかな？」と問いかけて、物語の展開に興味を持たせるようにした



4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせ

* 1歳児クラス："The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせを行いました。

<子どもの姿>

"One apple," "Two pears," など、カウントの部分でリズムに乗るように体を揺らす
果物やお菓子のイラストを指差しながら、「Apple!」「Banana!」など知っている単語を言おうとする

"Yummy!"（おいしそう!）と言ったり、食べるマネをする
穴あきのページに指を入れて、あおむしの食べた跡を楽しむ

<保育者との関わり>

最後のちょうちょのページでは、

「Wow! A beautiful butterfly!」と言いながら、
手をひらひらさせてジェスチャーを見せていた



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

<振り返り>今回は日本語絵本を先に読み子どもには話の流れがわかっていたので、英語絵本を見せても流れがわかり楽しめたのではないか？もし英語の本を先に読んだら子どもたちの反応は変わってくるのだろうか？

<次回への問い>英語絵本を先に読んでも子どもたちは話の流れがわかり楽しめるのだろうか？

4-②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせ

*4歳児クラス："Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせを行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<活動の内容、活動中見られた子どもの姿>

・食べ物や動物を見て、「チキンだ。」「これ、食べた事あるよ。」と言ったり、繰り返しのフレーズに合わせて体を揺らしたり、口ずさんだりする。

・英語講師が食べる真似をすると、一緒に食べる真似をしていた。

<保育者の関り>

・リズムに乗せて、歌のように抑揚をつけた

・英語講師が食べる真似をしたので、保育者もスパゲッティを食べる真似をすると子どもたちも一緒に真似をした。

「Yum! (おいしい!)」と言いながら食べ物の動作をする。一つ一つの食べ物の英単語にジェスチャーがあるので、保育者が率先して食べ物の単語のジェスチャーをして子どもたちと一緒に楽しむよう関わった。



4-②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせ

*4歳児クラス：「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<子どもの姿>

・読み始めると、「前も読んだこと、ある？」と英語の絵本を読んだことを覚えていた。

・音楽を流しながら読むと、「おなかのすいたこ、みんなおいで。」と覚えた歌詞を口ずさみながら、歌う児の姿も見られた。

<保育者の関り>

「すごいね！前に読んだこと覚えていたんだね！」

と共感し、記憶を引き出した

「前に読んだのは何語だったかな？」と問いかけ、

英語版とのつながりに気づかせる

「Monday, Tuesday…って言ってたね！」と、

英語の記憶を振り返りをした



5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

<振り返り>絵本を見た事のある児が多く、馴染みがあった為、英語の絵本も日本語の絵本のどちらも、読み始めると、喜んで見る姿が見られた。食べ物が全部のページに出ていた為、自分の食べたい物を食べる真似をしたり、他児と会話を楽しんだりしていた。

<次回への問い>絵本ではなく、手遊び歌のような別の素材に変えた場合、子どもたちは日本語でも英語でも同じように楽しめるだろうか？

4-③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>③「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

* 3歳児クラス：「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<活動の内容、活動中見られた子どもの姿>

「知ってる！」と嬉しそうに反応する子がいる。

・初めての子も、周りの様子を見ながら興味を持つ。

・手をグー・チョキ・パーにしようとするが、少し難しそうな子もいる。

・「グー！チョキ！パー！」の掛け声に合わせて、元気よく手を出す。

・まだチョキがうまくできず、指を開いたり閉じたりして頑張る姿が見られる。

・途中で「これなに～？」と自分の手を不思議そうに見つめる子も慣れてくると、スムーズに手を出せるようになり、得意げな表情を見せる。

〈保育者

との関わり等〉

・無理なく楽しめるよう、まだチョキが難しい子には「ゆっくりでいいよ！できるかな？」と励ましながら、指を動かすサポートをし「親指と人差し指で‘ピース’みたいにしてみよう！」と具体的に伝えた。



4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

* 3歳児クラス：Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<子どもの姿>

・英語講師が歌い始めると「グーチョキパーのお歌と一緒にだね」と気付いて、保育者や友達と話す。「次はヘリコプターかな？」「これはかにだよ」と日本語で答えていたが、英語講師に続いて英語で発音していた。

<保育者の関わり等>

・「次はヘリコプターかな？」「これはかにだよ！」

と子どもと一緒に想像を広げた。

・「グーチョキパーのお歌と一緒にだね！」と保育者や友達と話し、日本語の手遊び歌を結び付けられるようにした。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

<振り返り>曲が一緒の為、すぐに子どもたちも反応していた。最近じゃんけんに興味を持ち始めた為、高月齢児は一緒のテンポで歌ったり、手遊びが出来たりしていた。

難しい児は様子を見ながら、次は何に変わるかを当てることを楽しんでいた。

全体的に興味は示していた。手遊び歌を通して言葉のリズムや指の動きを楽しみながら、想像力を膨らませていた。まだ指の動きが難しい部分もありますが、繰り返すことで上手になり、できる喜びを感じていました。自由な発想で新しい形を作る楽しさも広がり、歌の後も子どもたちの遊びが続いていた。

【次回への問い】以前の英語で習った「Twinkle, Twinkle, Little Star」を日本語でも歌ったら、子どもたちはどんな反応をするだろうか？

4-④. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>④「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

* 5歳児クラス：「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<活動の内容、活動中見られた子どもの姿>

・子どもたちは元気よく、楽しそうに歌っていた。
・歌詞を覚えている子が多く、自信をもって歌っていた。
・一部の子どもは少し照れたり、小さな声になったりする場面もあったが、周囲の友だちの歌声に引っ張られるように次第に声が大きくなった。

・「きらきら」の部分では、指を動かして星を表現する姿も見られ、表現豊かに楽しんでいた。

<保育者の関わり等>

・最初に歌詞を確認しながら、子どもたちが歌いやすいように声掛けを行った。
・手遊びや簡単な振り付けを取り入れ、より楽しく歌えるように工夫した。
・歌い終わった後、「とてもきれいな声だったね」「みんなの声がそろっていて素敵だったよ」と言葉をかけ、達成感を味わえるようにした。



4-④. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>④"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

* 5歳児クラス："Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等>

きらきら星の歌では、英語講師の真似をしながら手遊びを楽しんでいた。英語でもわかる歌詞は歌おうとする児がいた。英語の次に日本語で歌うと、元気よく歌う姿が見られた。英語でも日本語でも楽しんで聞いたり歌ったりしていた。



5-④. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

<振り返り>子どもたちは、大人ほど日本語と英語をはっきり区別していないことに気がついた。たとえ英語講師が英語のみ話すと理解していても、日本語で話しかけることがあり、また英語で話しかけられても、日本語で返答する姿が見られた。言葉の壁は、思っているほど高くないように感じられた。

<次回への問い>英語講師は週に2回、ほぼ一日中園にいるため、子どもたちは英語を話す保育者として認識しているかもしれない。そこへ別の外国人英語講師が訪れ、異なる英語を話したとき、子どもたちはどのように反応するのだろうか？